

2022年度 第2四半期 決算説明会

2022年11月9日

ブラザー工業株式会社

常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2022年度 第2四半期（7月-9月）実績

主に為替のプラス影響により増収となるものの、P&S事業における消耗品販売減による粗利減や部材コストの高騰、販管費の増加などにより、大幅な減益となる

◆ **売上収益** **1,969億円/+11.6%**（前年同期比）

- ✓ 為替が円安に推移したことによるプラス影響が増収に大きく寄与
- ✓ P&S事業は、為替影響を除くと、消耗品の値上げ前駆け込み需要の反動減により減収
- ✓ P&H事業は、巣ごもり需要が一巡したことに加え、中高級機種の販売減により減収

◆ **事業セグメント利益** **111億円/ -52.1%**（前年同期比）

- ✓ 主にP&S事業における消耗品販売減にともなう粗利減により、大幅な減益
- ✓ 部材コストの高騰、販管費の増加などが利益を圧迫

2022年度 通期業績予想

売上収益は、為替のプラス影響に加え、P&S事業における供給制約の緩和などを反映し、上方修正

事業セグメント利益は、為替のプラス影響があるものの、部材コストの高騰や、上期における利益の下振れを反映し、下方修正

2022年度 第2四半期（7月-9月）業績

主に為替のプラス影響により増収となるものの、
P&S事業における消耗品販売減による粗利減や
部材コストの高騰、販管費の増加などにより、大幅な減益となる

単位：億円

	21Q2	22Q2	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	1,765	1,969	204 (▲37)	11.6% (▲2.1%)
事業セグメント利益	232	111	▲121 (▲152)	▲52.1% (▲65.5%)
事業セグメント利益率	13.2%	5.7%		
その他の収益・費用	15	13	▲2	
営業利益	247	124	▲123	▲49.6%
営業利益率	14.0%	6.3%		
税引前利益	248	129	▲119	▲48.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	182	129	▲53	▲29.3%
USD	110.47	138.68	28.21	
EUR	130.31	140.32	10.01	

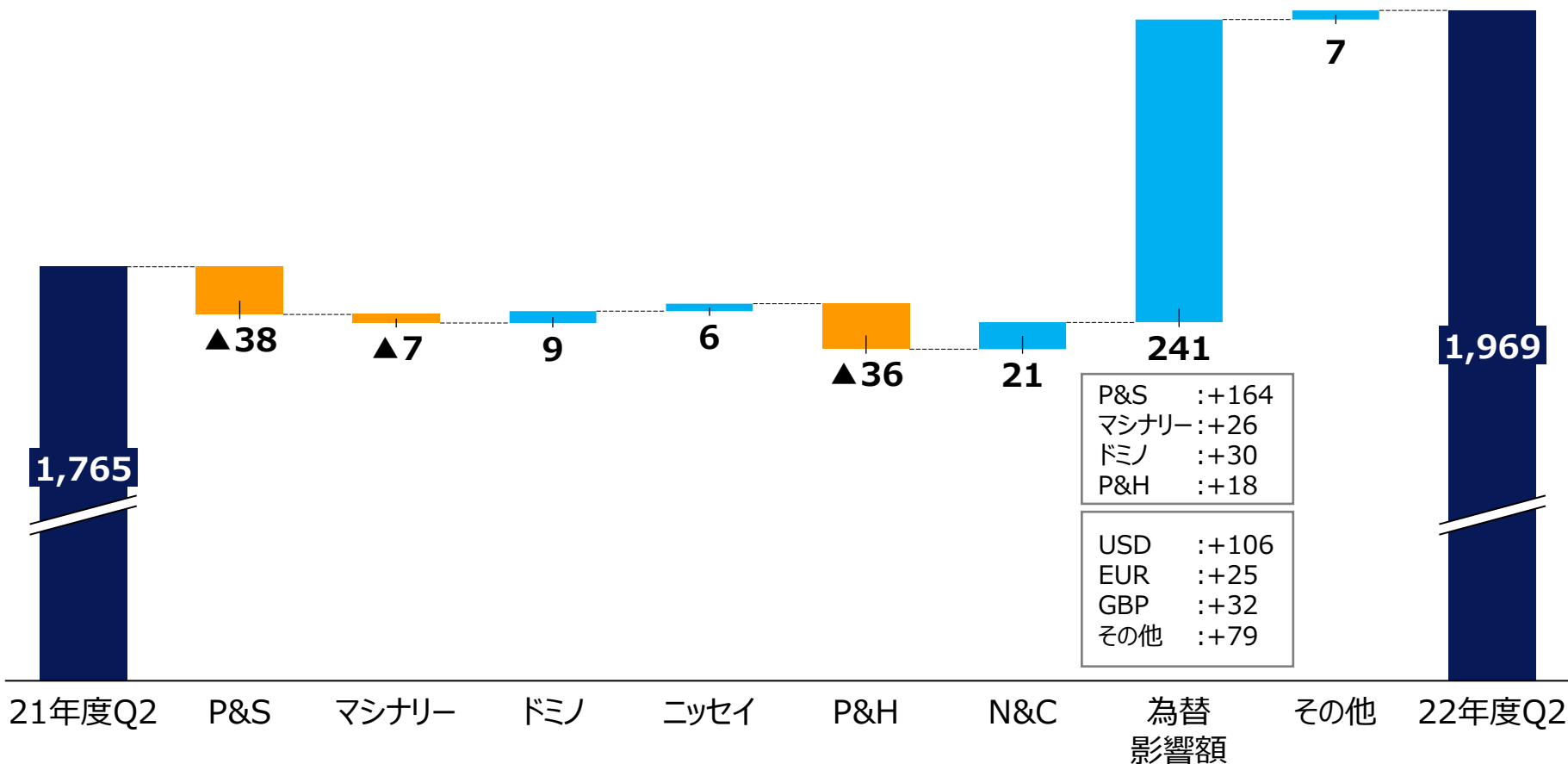
2022年度第2四半期 事業セグメント別実績

単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	21Q2	22Q2	増減	21Q2	22Q2	増減	21Q2	22Q2	増減
P&S	1,061	1,187	126	159	51	▲108	164	54	▲109
マシナリー	221	240	19	31	32	1	32	34	2
ドミノ	212	251	40	22	13	▲9	22	18	▲4
ニッセイ	50	59	9	5	6	1	5	6	1
P&H	134	116	▲18	26	7	▲19	28	8	▲19
N&C	64	85	22	▲12	1	13	▲5	2	7
その他	23	31	7	0	2	1	2	2	▲0
合計	1,765	1,969	204	232	111	▲121	247	124	▲123

主にP&S事業とP&H事業が減収となるものの、為替のプラス影響により増収となる

単位：億円

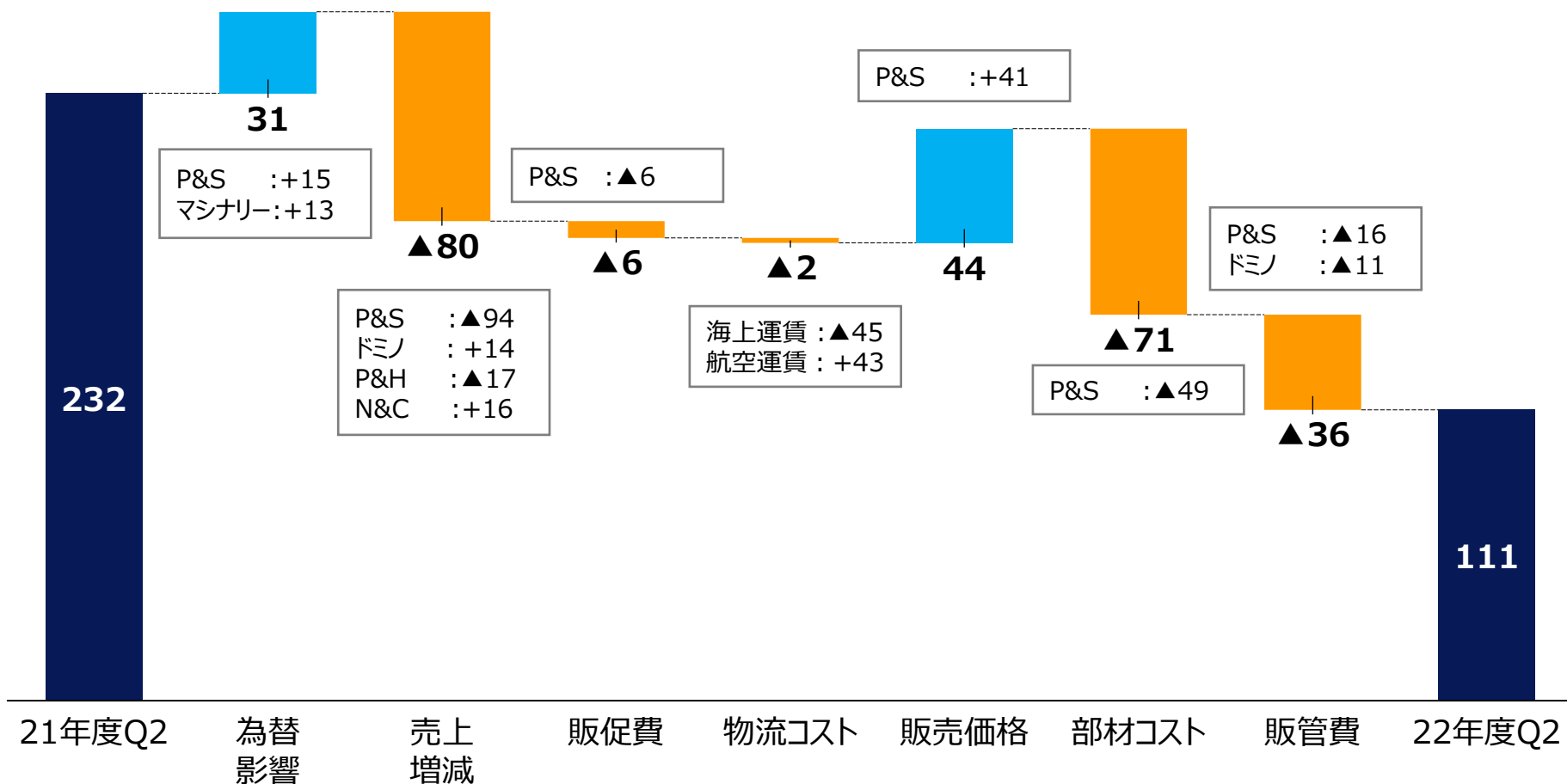


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2022年度第2四半期 事業セグメント利益の増減要因

主にP&S事業における価格対応の効果や為替のプラス影響があったものの、
P&S事業における消耗品販売減にともなう粗利減や
部材コストの高騰、販管費の増加などにより、大幅な減益となる

単位：億円



2022年度 上期（4月-9月）累計業績

為替のプラス影響に加え、主に第1四半期においてP&S事業が堅調に推移したことにより、増収となる事業セグメント利益は、主にP&S事業における価格対応の効果があったものの、部材コストの高騰に加え、販管費が増加したことなどにより、大幅な減益となる

単位：億円

	21年度Q2 累計実績	22年度Q2 累計実績	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	3,505	3,967	461 (46)	13.2% (1.3%)
事業セグメント利益	494	359	▲135 (▲190)	▲27.3% (▲38.5%)
事業セグメント利益率	14.1%	9.1%		
その他の収益・費用	18	15	▲2	
営業利益	512	375	▲137	▲26.8%
営業利益率	14.6%	9.4%		
税引前利益	516	382	▲134	▲25.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	368	303	▲66	▲17.8%
USD	110.18	133.46	23.28	
EUR	130.97	138.79	7.82	

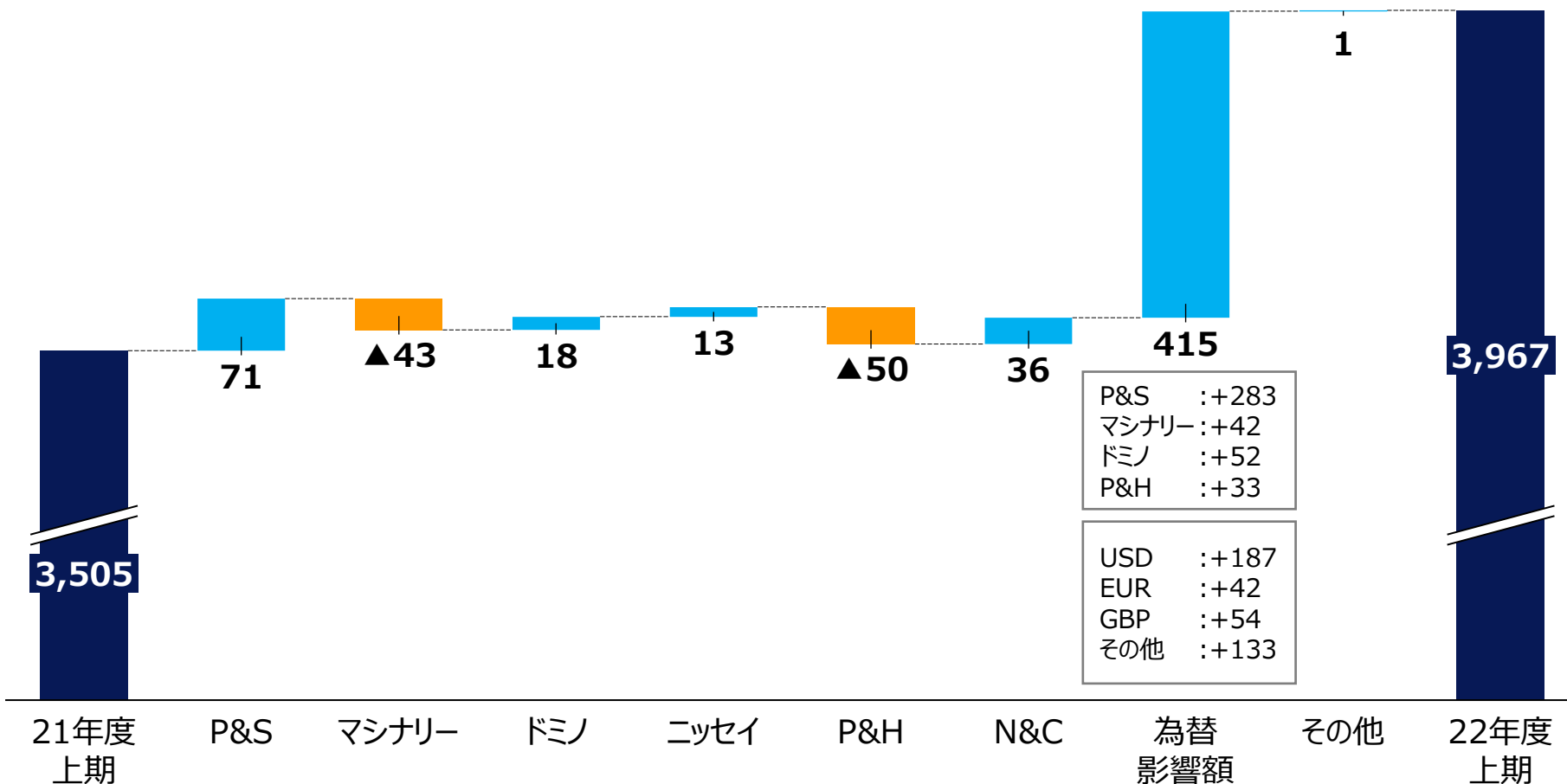
2022年度上期 事業セグメント別実績

単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	21年度 Q2累計	22年度 Q2累計	増減	21年度 Q2累計	22年度 Q2累計	増減	21年度 Q2累計	22年度 Q2累計	増減
P&S	2,052	2,405	353	323	230	▲93	327	224	▲103
マシナリー	474	474	▲0	78	53	▲25	78	58	▲19
ドミノ	419	489	70	43	30	▲14	43	37	▲5
ニッセイ	101	119	18	10	12	2	10	13	3
P&H	275	258	▲17	58	27	▲31	58	28	▲30
N&C	133	169	36	▲20	4	24	▲9	9	17
その他	51	52	1	2	5	3	4	5	1
合計	3,505	3,967	461	494	359	▲135	512	375	▲137

主に為替のプラス影響により増収となる

単位：億円

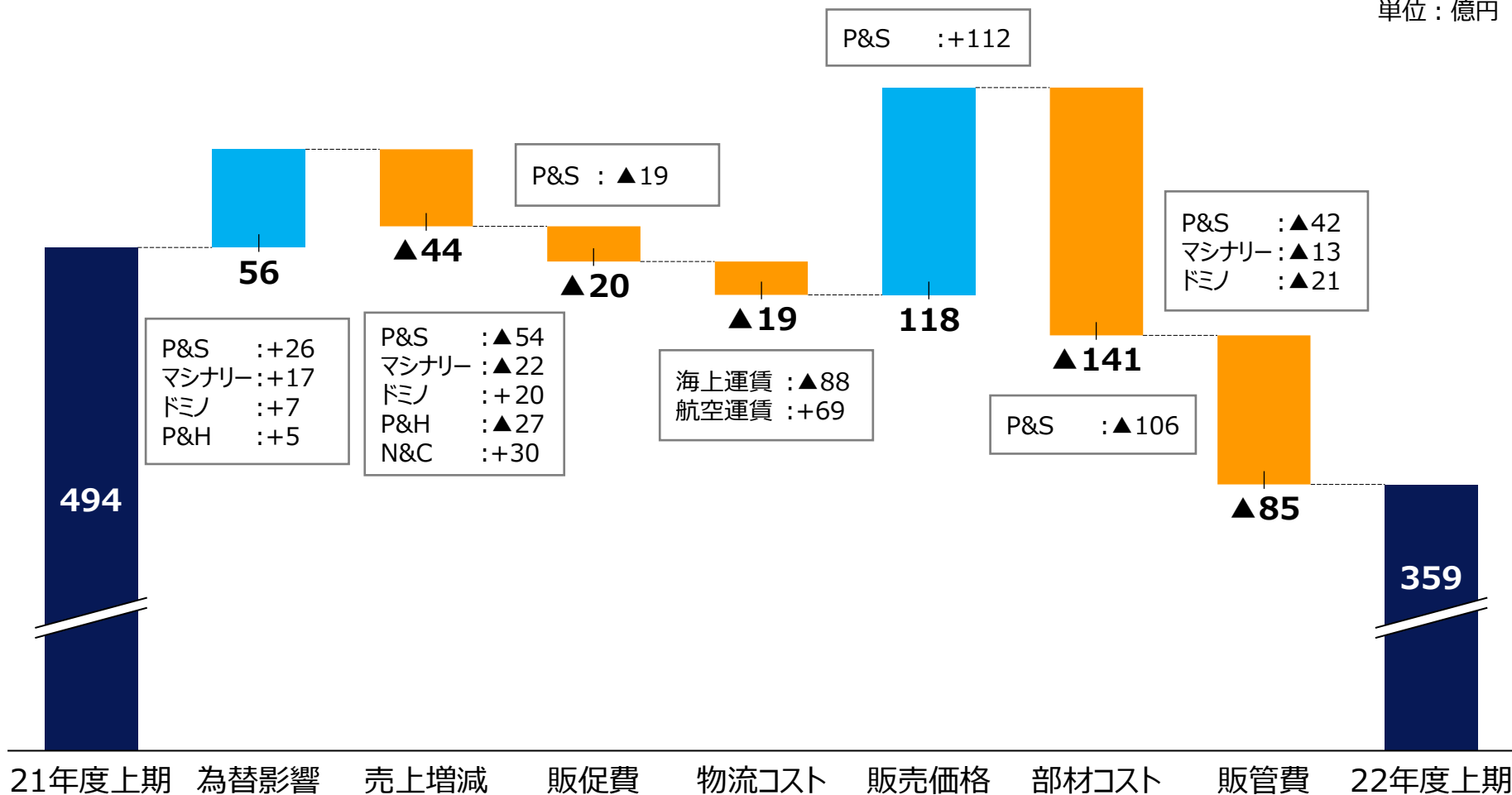


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2022年度上期 事業セグメント利益の増減要因

主にP&S事業における価格対応の効果や為替のプラス影響があったものの、部材コストの悪化や販管費の増加、粗利減により減益となる

単位：億円



P&S : +26
マシナリー : +17
ドミノ : +7
P&H : +5

P&S : ▲54
マシナリー : ▲22
ドミノ : +20
P&H : ▲27
N&C : +30

P&S : ▲19

海上運賃 : ▲88
航空運賃 : +69

P&S : +112

P&S : ▲42
マシナリー : ▲13
ドミノ : ▲21

P&S : ▲106

2022年度 通期業績予想

売上収益は、為替のプラス影響に加え、P&S事業における供給制約の緩和などを反映し、上方修正
事業セグメント利益は、部材コストの高騰や上期における利益の下振れを反映し、下方修正

単位：億円

	前回予想	22年度 今回予想	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率	21年度 実績	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	7,750	8,400	650 (194)	8.4% (2.5%)	7,109	1,291 (527)	18.2% (7.4%)
事業セグメント利益	730	700	▲30 (▲37)	▲4.1% ▲5.0%	846	▲146 (▲175)	▲17.2% ▲20.7%
事業セグメント利益率	9.4%	8.3%			11.9%		
その他の収益・費用	0	30	30		9	21	
営業利益	730	730	0	0.0%	855	▲125	▲14.6%
営業利益率	9.4%	8.7%			12.0%		
税引前利益	730	730	0	0.0%	864	▲134	▲15.5%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	510	510	0	0.0%	610	▲100	▲16.4%
USD	122.00	134.92	12.92		112.86	22.06	
EUR	133.00	137.61	4.61		131.01	6.60	

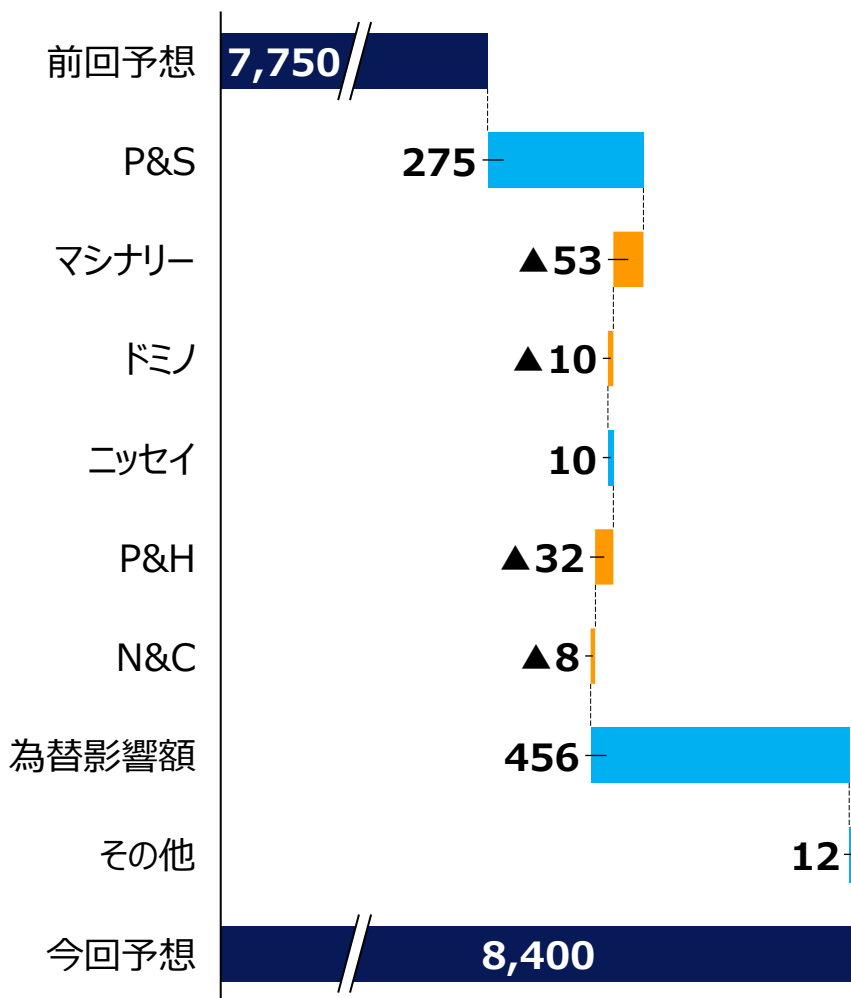
2022年度通期 事業セグメント別予想

単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	前回予想	22年度 今回予想	増減	前回予想	22年度 今回予想	増減	前回予想	22年度 今回予想	増減
P&S	4,553	5,132	579	485	430	▲55	485	430	▲55
マシナリー	1,070	1,053	▲17	135	135	0	136	136	0
ドミノ	900	966	66	43	43	0	42	42	0
ニッセイ	220	234	13	18	18	0	16	16	0
P&H	513	517	4	60	60	0	60	60	0
N&C	369	361	▲8	4	4	0	4	4	0
その他	125	137	12	▲15	10	25	▲13	42	55
合計	7,750	8,400	650	730	700	▲30	730	730	0

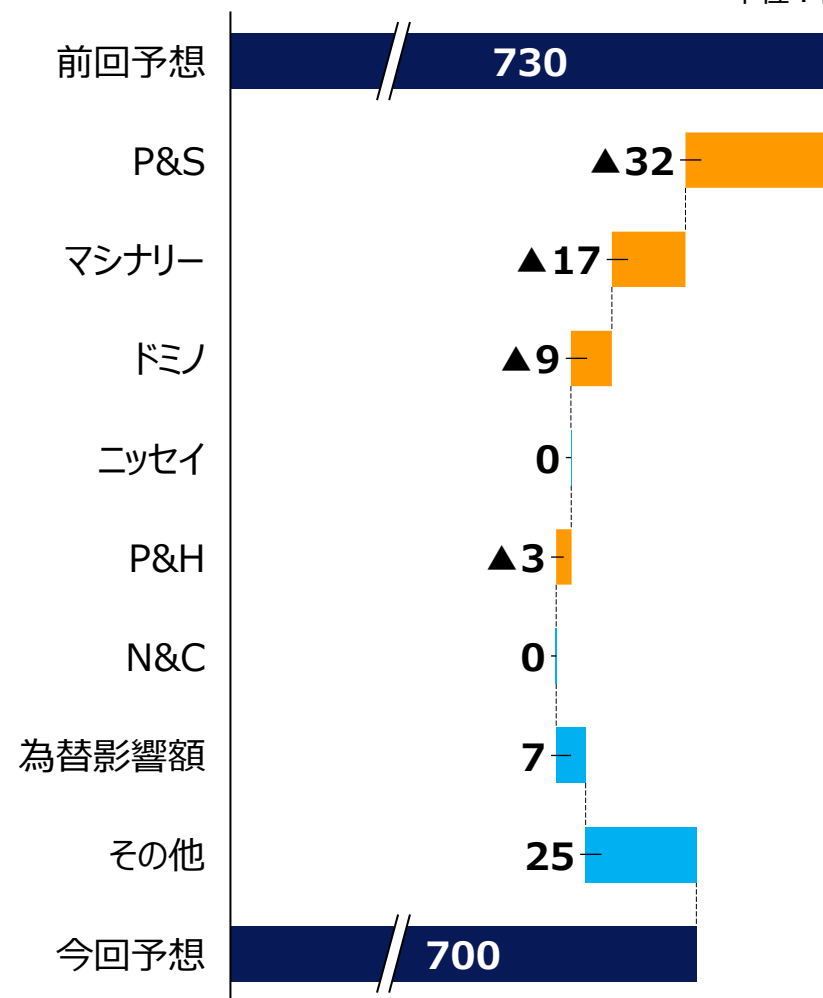
2022年度通期 売上収益/事業セグメント利益の増減

売上収益の増減



事業セグメント利益の増減

単位：億円



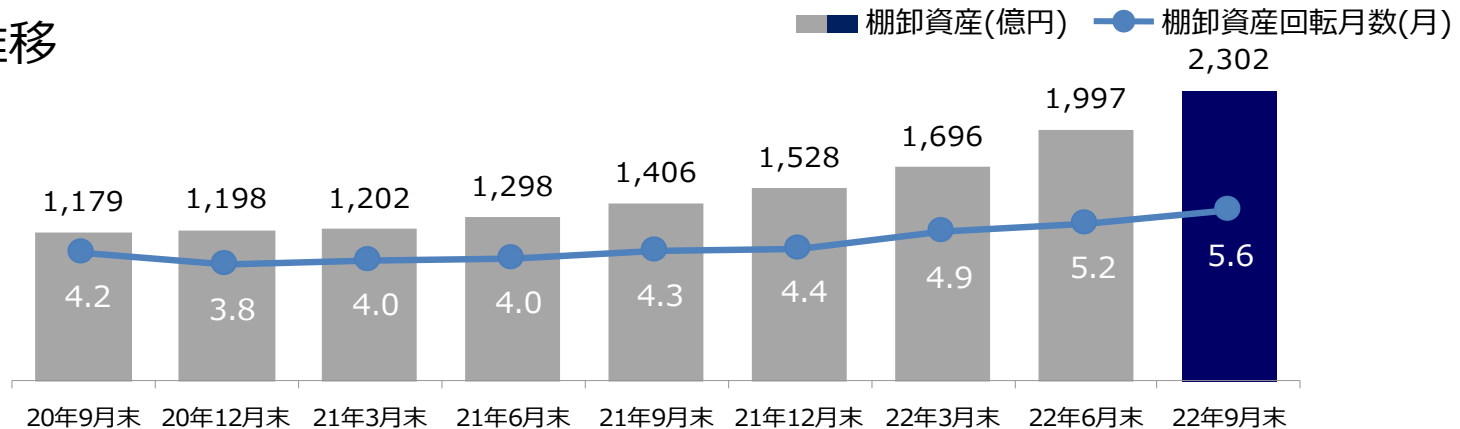
※増減額は為替影響を除いた実質ベース

単位：億円

	22年3月末	22年9月末	増減
流動資産	4,767	5,294	527
現預金	1,679	1,298	▲382
棚卸資産	1,696	2,302	606
非流動資産	3,344	3,482	138
負債合計	2,499	2,660	161
有利子負債	408	415	7
株主資本	5,611	6,116	504
総資産	8,111	8,776	665

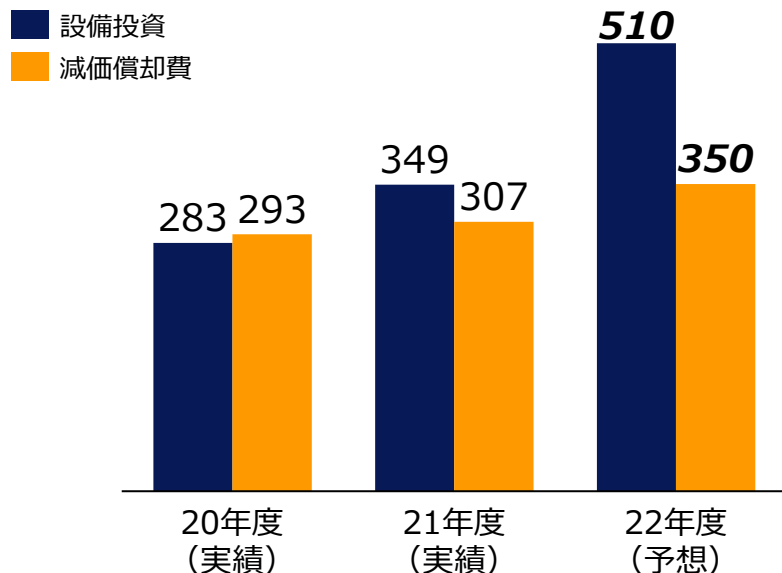
	22年3月末	22年9月末	増減
ネット・キャッシュ	1,271	882	▲389
株主資本比率	69.2%	69.7%	0.5%
ROE	11.7%	-	-

棚卸資産推移

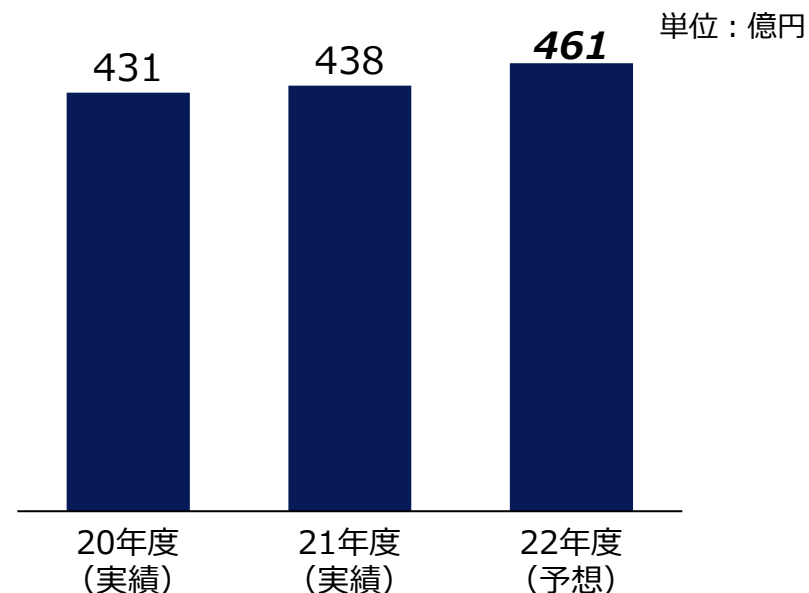


※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

設備投資・減価償却費



研究開発費



設備投資内訳

	20年度	21年度	22年度
産業用領域	52	68	113
民生用領域他	231	281	397
計	283	349	510

研究開発費内訳

	20年度	21年度	22年度
産業用領域	91	103	129
民生用領域他	340	335	332
計	431	438	461

*産業用領域は、マシナリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

セグメント業績概要

※2022年度第1四半期の地域別売上収益は、以下にて補足情報として公開しております。

<https://download.brother.com/pub/jp/investor/accounts/tansin/2022q1/2022q1-sup.pdf>

プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

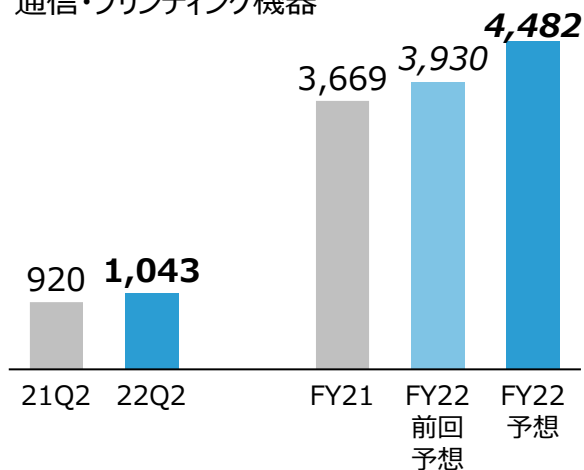
	21Q2	22Q2	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,061	1,187	11.9%	-3.6%
通信・プリンティング機器	920	1,043	13.4%	-2.2%
米州	331	392	18.6%	-4.2%
欧州	290	295	1.7%	-6.5%
アジア他	189	240	27.2%	8.9%
日本	110	116	5.0%	-4.0%
ラベリング	141	144	1.7%	-12.5%
米州	68	65	-4.2%	-23.0%
欧州	39	39	-1.3%	-8.9%
アジア他	22	30	36.3%	16.8%
日本	12	10	-18.3%	-18.3%
事業セグメント利益	159	51	-68.1%	-
営業利益	164	54	-66.8%	-

	FY21	FY22 前回予想	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	4,242	4,553	5,132	21.0%	8.4%
通信・プリンティング機器	3,669	3,930	4,482	22.2%	9.5%
米州	1,307	1,518	1,800	37.7%	16.6%
欧州	1,210	1,151	1,335	10.4%	4.5%
アジア他	698	732	860	23.4%	10.6%
日本	455	529	486	7.0%	0.8%
ラベリング	573	624	650	13.4%	1.2%
米州	260	282	321	23.6%	4.4%
欧州	173	188	181	4.3%	-1.0%
アジア他	91	101	102	11.7%	0.1%
日本	49	53	47	-5.4%	-5.4%
事業セグメント利益	598	485	430	-28.0%	-
営業利益	594	485	430	-27.6%	-

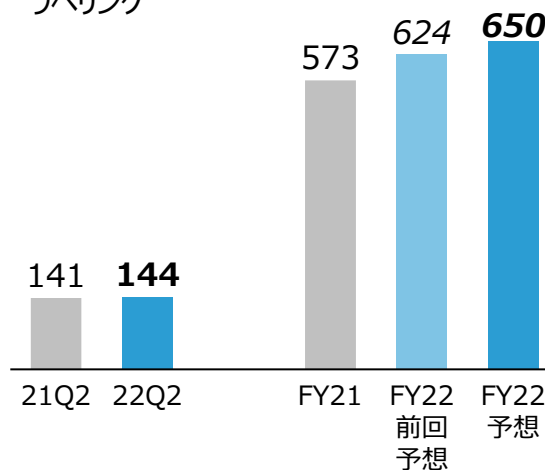
※日本にOEMを含む

<売上収益>

通信・プリンティング機器

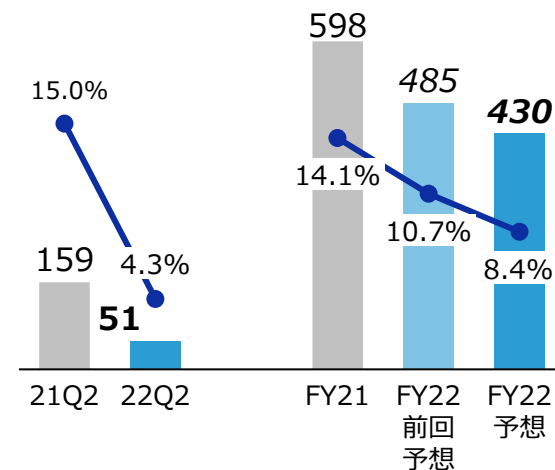


ラベリング



<事業セグメント利益>

●利益率



プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	20通期	21通期
LBP														
売上伸び率（円ベース/前年比）														
本体	6%	19%	18%	18%	-10%	-4%	-9%	-8%	41%	45%	-	-	15%	-8%
消耗品	-18%	1%	0%	-1%	21%	15%	14%	16%	18%	-8%	-	-	-5%	16%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）														
本体	11%	22%	21%	18%	-16%	-9%	-15%	-13%	25%	23%	-	-	18%	-13%
消耗品	-15%	2%	2%	-3%	12%	9%	6%	9%	7%	-20%	-	-	-4%	9%
IJP														
売上伸び率（円ベース/前年比）														
本体	-37%	-49%	-12%	-3%	90%	95%	17%	15%	18%	32%	-	-	-25%	45%
消耗品	-23%	-1%	9%	-6%	11%	-6%	-3%	2%	19%	-2%	-	-	-5%	0%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）														
本体	-33%	-48%	-9%	-3%	79%	87%	11%	10%	8%	16%	-	-	-23%	38%
消耗品	-20%	-1%	10%	-8%	5%	-10%	-7%	-2%	11%	-12%	-	-	-5%	-4%
消耗品比率	55%	57%	55%	56%	56%	57%	58%	59%	53%	47%	-	-	55%	57%
販売台数伸び率（前年比）														
LBP	12%	10%	6%	0%	-28%	-16%	-20%	-16%	14%	9%	-	-	7%	-20%
IJP	-39%	-57%	-24%	-25%	65%	101%	1%	7%	8%	16%	-	-	-36%	34%

※22Q1のLBP本体の売上伸び率（現地通貨ベース）を前回公表時（2022年8月5日）の28%から25%へ修正しました。

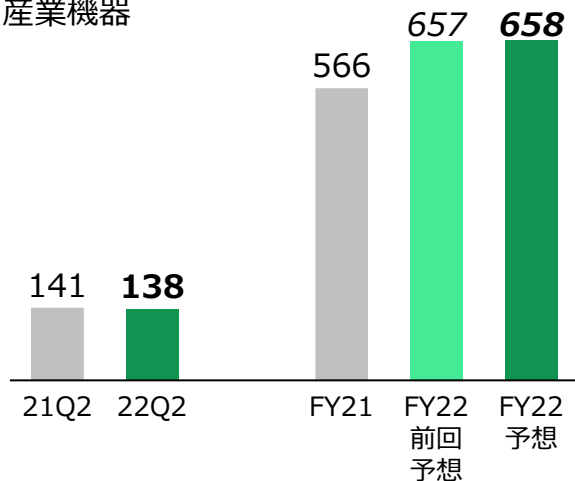
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

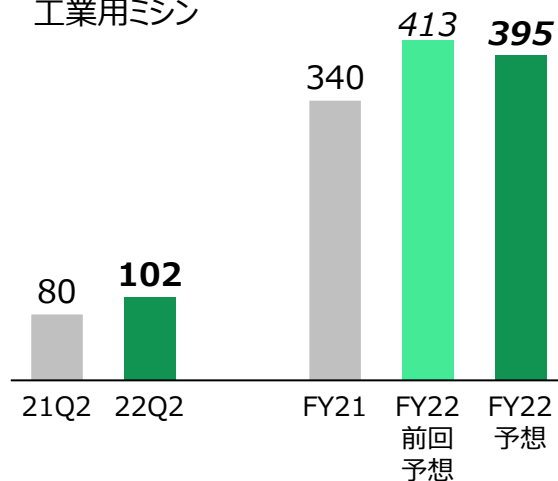
	21Q2	22Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY21	FY22 前回予想	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	221	240	8.6%	-3.1%	905	1,070	1,053	16.3%	7.7%
産業機器	141	138	-1.7%	-8.8%	566	657	658	16.4%	11.4%
米州	10	5	-45.2%	-	33	36	35	7.2%	-
欧州	8	6	-28.3%	-	34	36	35	2.8%	-
アジア他	102	105	3.0%	-	408	468	444	8.7%	-
日本	21	22	4.8%	-	90	117	143	59.5%	-
工業用マシン	80	102	26.7%	6.8%	340	413	395	16.1%	1.6%
米州	23	27	14.9%	-7.8%	94	116	115	22.6%	2.6%
欧州	15	19	28.6%	19.4%	72	84	80	10.4%	4.8%
アジア他	39	51	31.2%	7.3%	159	191	182	14.4%	-2.3%
日本	3	4	50.4%	50.4%	15	22	18	21.3%	21.3%
事業セグメント利益	31	32	1.8%	-	126	135	135	7.3%	-
営業利益	32	34	7.4%	-	126	136	136	8.1%	-

<売上収益>

産業機器

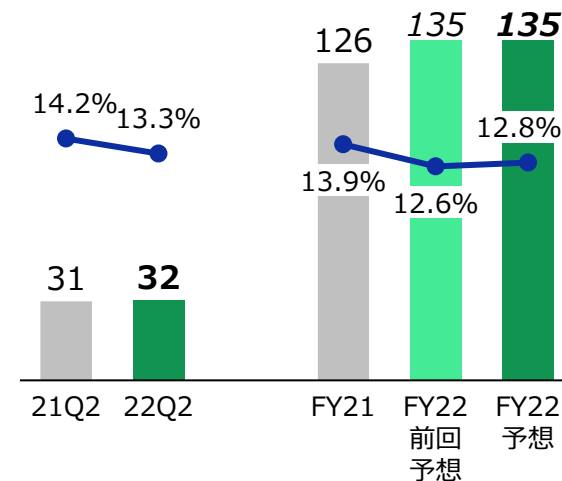


工業用マシン



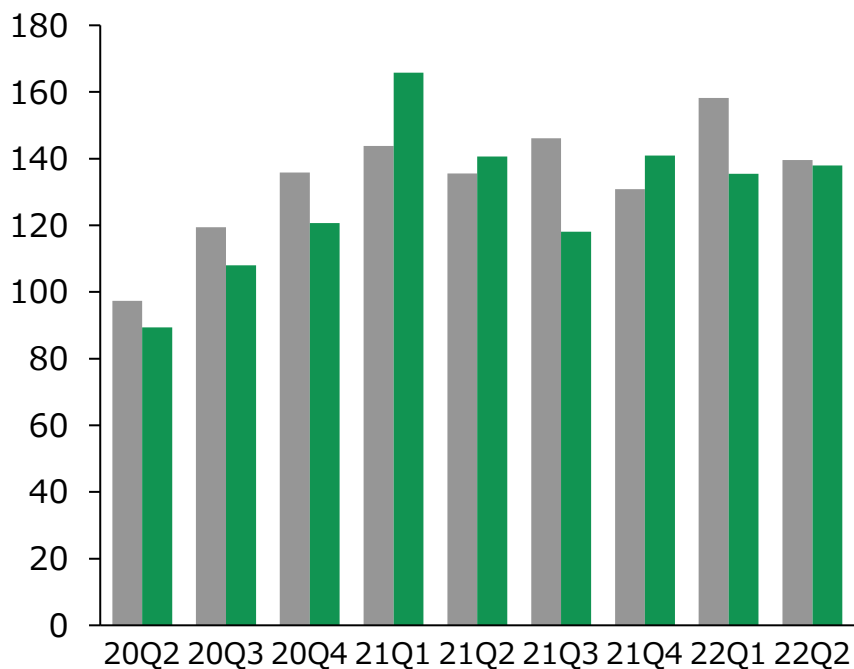
<事業セグメント利益>

● 利益率



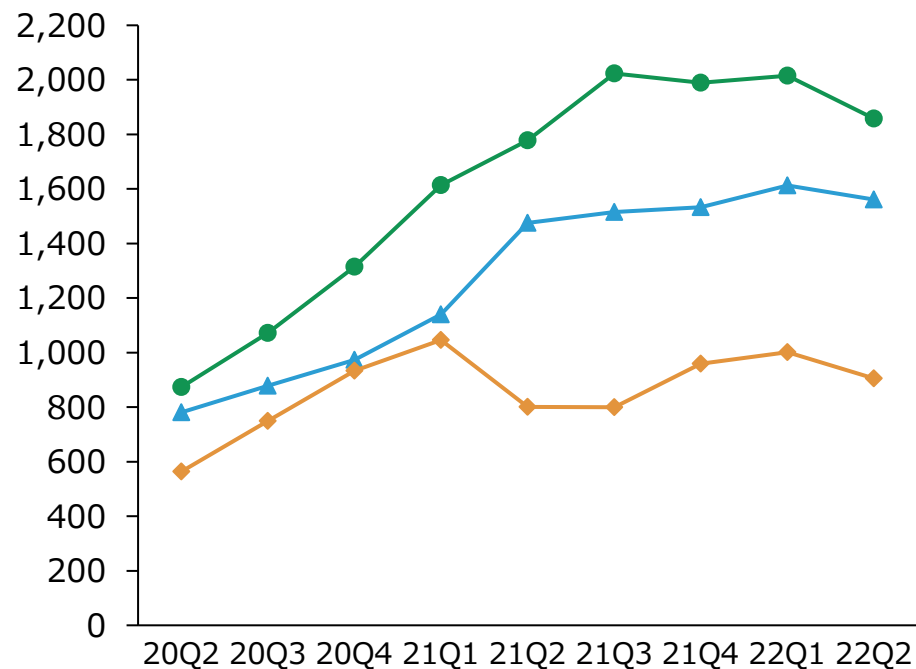
受注額・売上収益の推移

■ 受注額 ■ 売上収益



(参考) 日工会受注統計

▲ 内需 ● 中国を除く外需 ◆ 中国



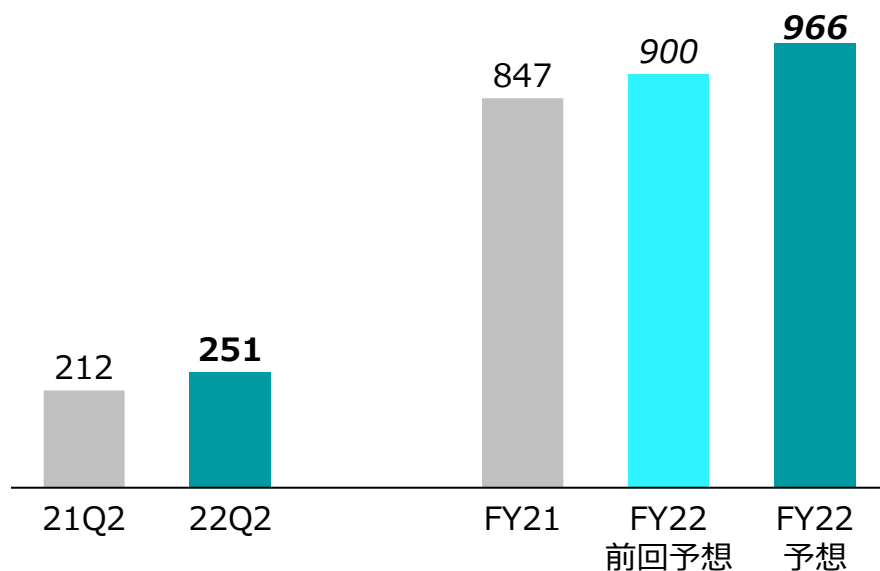
※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

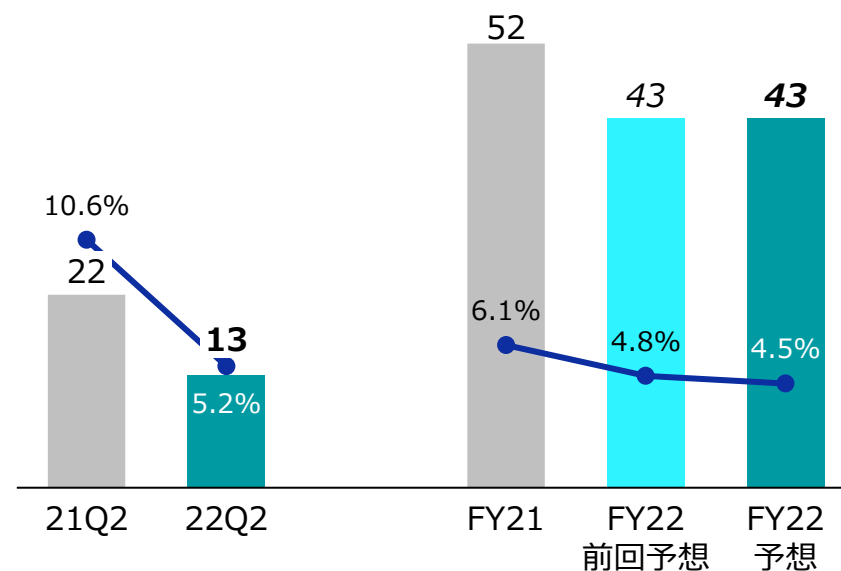
単位：億円

	21Q2	22Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY21	FY22 前回予想	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	212	251	18.8%	4.4%	847	900	966	14.0%	4.4%
米州	51	57	13.3%	-0.6%	202	215	233	15.3%	4.8%
欧州	91	111	22.5%	7.5%	379	388	416	9.9%	1.7%
アジア他	62	72	14.6%	-1.0%	237	253	276	16.7%	4.2%
日本	8	11	44.5%	44.5%	30	44	41	36.3%	36.3%
事業セグメント利益	22	13	-41.8%	-	52	43	43	-16.7%	-
営業利益	22	18	-19.7%	-	43	42	42	-2.5%	-

<売上収益>



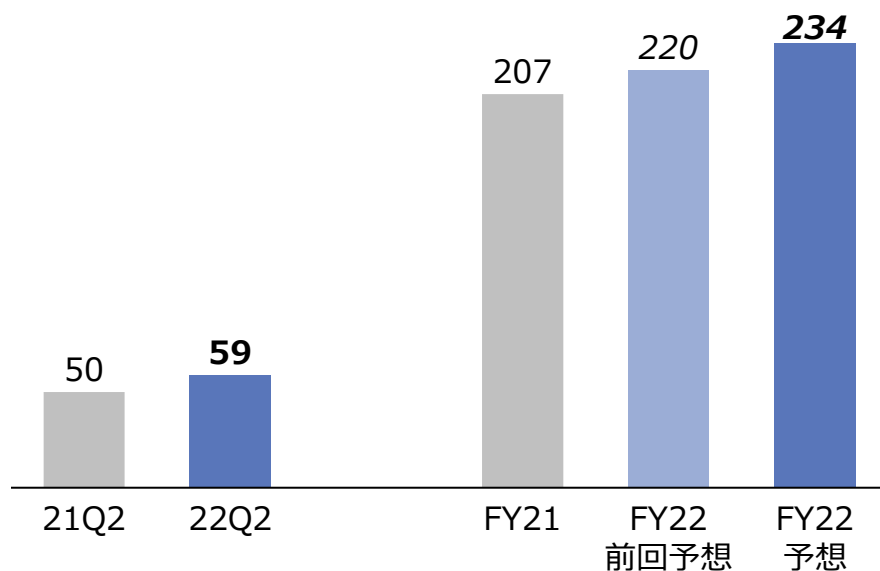
<事業セグメント利益> ● 利益率



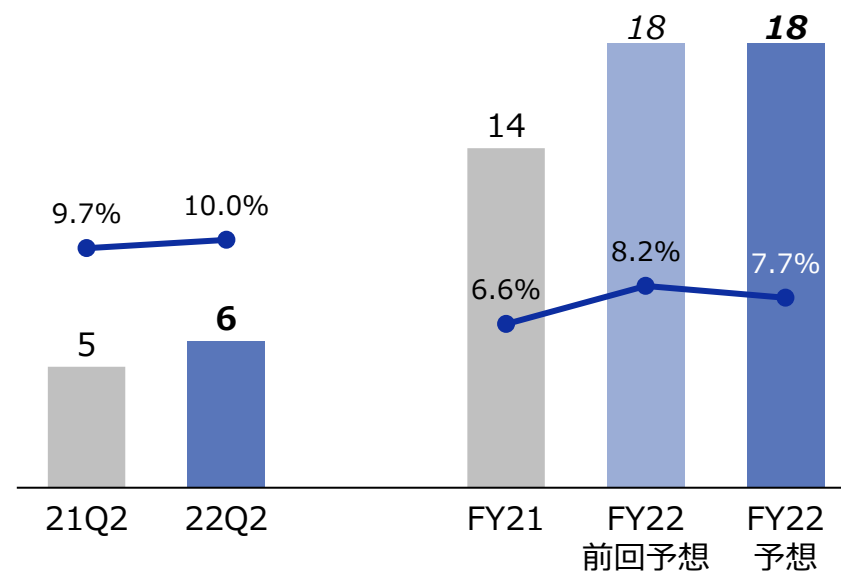
単位：億円

	21Q2	22Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY21	FY22 前回予想	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	50	59	17.6%	11.6%	207	220	234	12.8%	8.3%
米州	8	8	7.4%	-14.6%	30	32	37	21.1%	1.0%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	6	11	68.7%	48.0%	28	31	35	22.2%	12.5%
日本	36	40	10.7%	10.7%	149	158	162	9.0%	9.0%
事業セグメント利益	5	6	21.5%	-	14	18	18	30.8%	-
営業利益	5	6	21.3%	-	13	16	16	18.6%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率

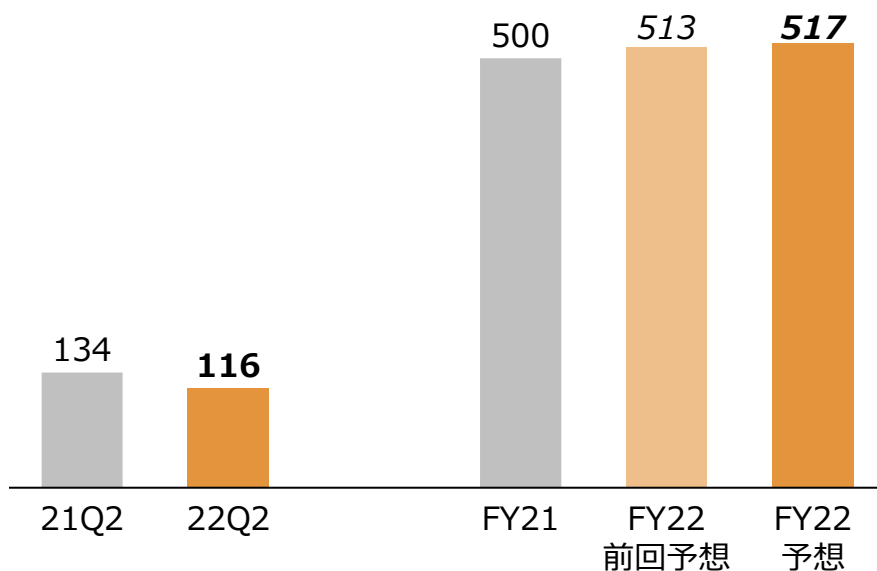


パーソナル&ホーム事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

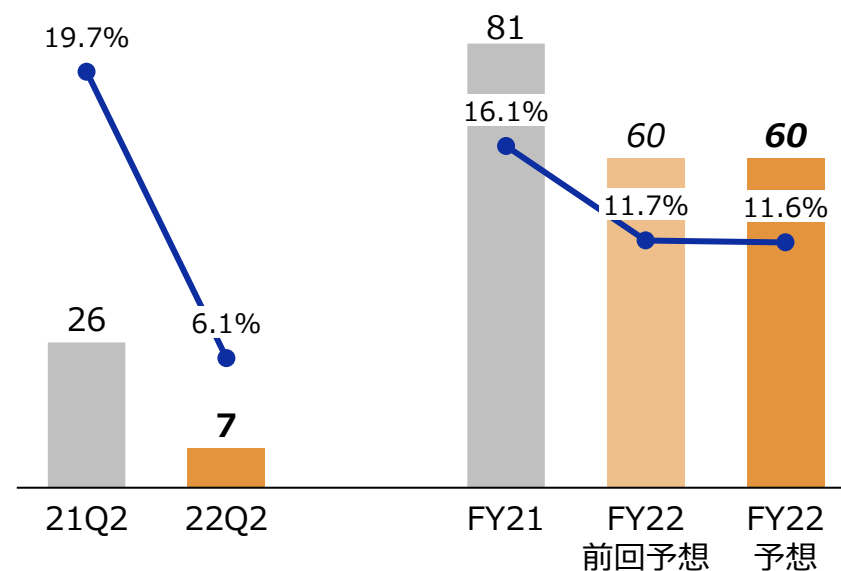
単位：億円

	21Q2	22Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY21	FY22 前回予想	FY22 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	134	116	-13.4%	-27.0%	500	513	517	3.4%	-8.9%
米州	79	77	-2.6%	-21.6%	277	295	325	17.3%	-1.4%
欧州	36	20	-45.0%	-49.0%	140	140	106	-24.5%	-28.2%
アジア他	12	14	13.4%	-0.7%	52	60	55	7.1%	-2.1%
日本	7	6	-21.3%	-21.3%	31	18	31	0.4%	0.4%
事業セグメント利益	26	7	-73.1%	-	81	60	60	-25.7%	-
営業利益	28	8	-70.3%	-	82	60	60	-26.9%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



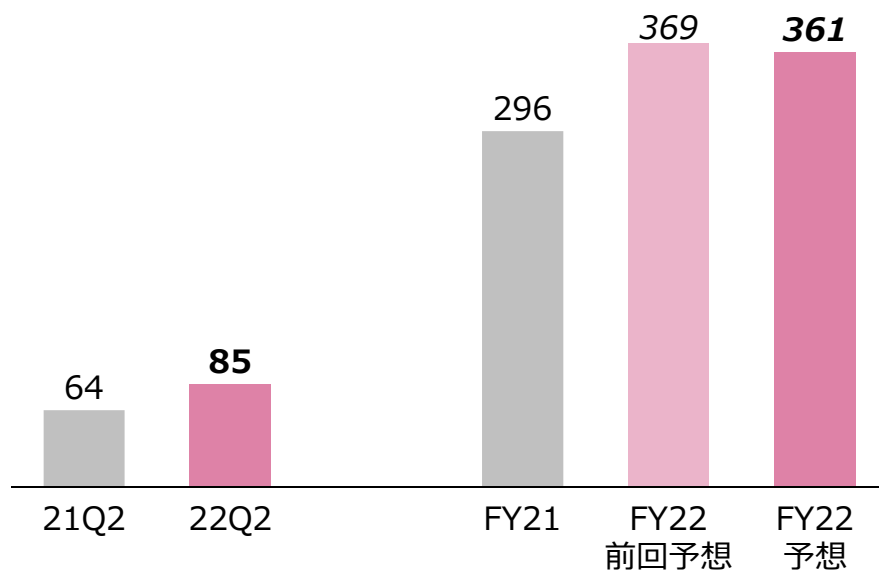
ネットワーク&コンテンツ事業

売上収益・事業セグメント利益・営業利益

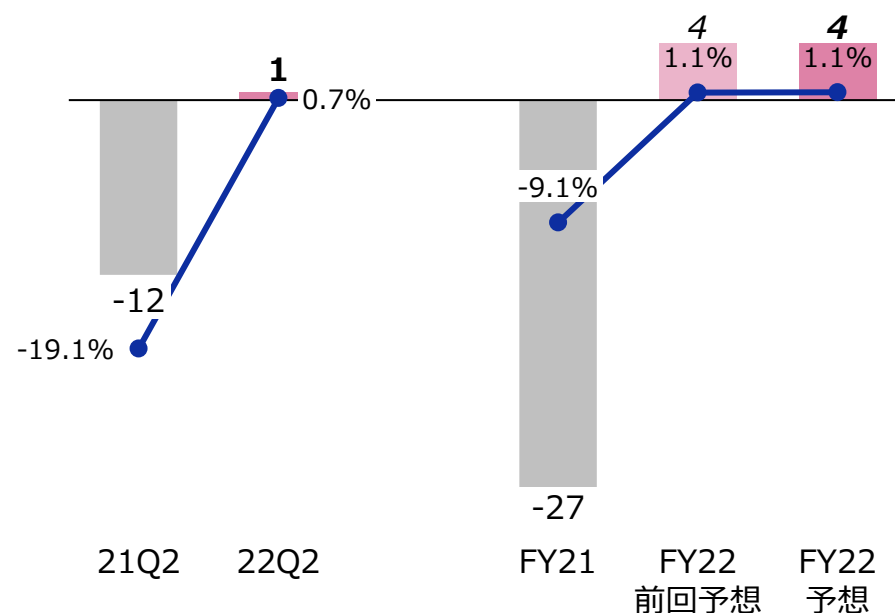
単位：億円

	21Q2	22Q2	増減率	FY21	FY22 前回予想	FY22 予想	対前年 増減率
売上収益	64	85	33.7%	296	369	361	22.2%
事業セグメント利益	▲12	1	-	▲27	4	4	-
営業利益	▲5	2	-	▲6	4	4	-

<売上収益>

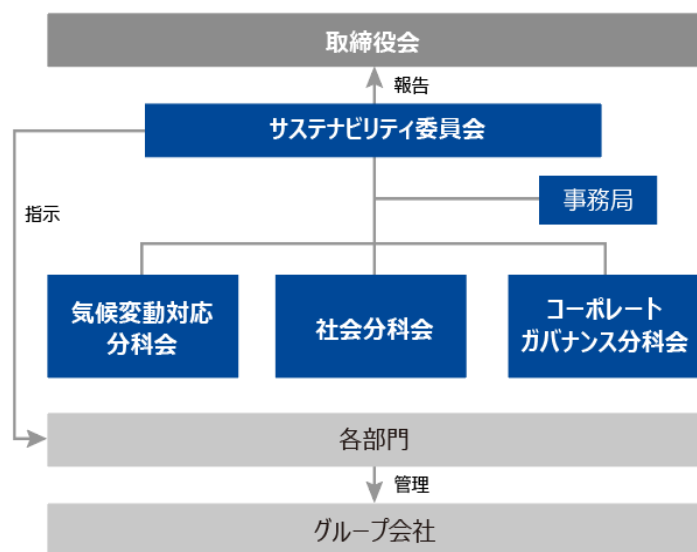


<事業セグメント利益> ● 利益率



ESGの取り組み

2022年4月に社長を委員長とするサステナビリティ委員会を設置 サステナビリティ基本方針に基づき、マテリアリティへの取り組みを中心とした活動を推進



分科会	役割	2022年度 活動進捗
気候変動対応分科会	地球の未来に関わるマテリアリティ解決に向けた全社活動の推進	CO ₂ 排出削減、資源循環の目標達成に向けて活動を推進 <ul style="list-style-type: none"> Scope1,2：省エネ・創エネ活動が順調に推移するも、世界のエネルギー事情悪化に伴う影響を補完する更なる削減策を検討 Scope3、資源循環：各事業において計画通り進行
社会分科会	社会の発展に関わるマテリアリティ解決に向けた全社活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人々の価値創出の支援に向けて、産業機器事業、P&S事業でサステナビリティ目標に掲げた活動を推進 従業員エンゲージメント調査の実施（ブラザー工業） サプライチェーン人権DDの実施 紛争鉱物調査の実施 ベトナム工場においてRBA Gold認証を取得
コーポレートガバナンス分科会	ビジョン実現とそのため経営戦略の実効性を促進するコーポレートガバナンスの構築	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会での議論に資する社内情報の社外取締役への提供 社外取締役と社内人材との交流会、社外取締役座談会の開催

10月末に、日本語版の「統合報告書2022」をWebサイトで公開

- ✓ “At your side.”の精神を軸とし、ビジョン・中期戦略・マテリアリティの関連性を意識した構成に
- ✓ 価値創造プロセスを改定（サステナビリティ委員会で議論）
- ✓ 社外取締役座談会を掲載



表紙



価値創造プロセス

URL : <https://global.brother/ja/sustainability/report-archive/bir>

P&S製品を生産するブラザーインダストリーズ（ベトナム）が ブラザーグループ初のRBAのGold認証を取得



ブラザーインダストリーズ（ベトナム）



RBA Gold認定証

Responsible Business Alliance (RBA)
加盟企業が持続可能なサプライチェーンの構築を通じ
社会的責任を果たすことを目的とする世界的な団体

ブラザーグループ 5つのマテリアリティ

社会
の発展

- 人々の価値創出の支援
- 多様な人々が活躍できる社会の実現
- **責任あるバリューチェーンの追求**

地球
の未来

- CO₂排出削減
- 資源循環

2024年度目標：

「グループ製造拠点3拠点において
RBA Gold認証を取得」

→1拠点達成

→他の2拠点も認定取得に向け対応中

brother
at your side

ビジネス領域		事業		分野（主な製品・サービス群）			
産業用領域	マシナリー・FA領域	マシナリー	ニッセイ		減速機	工作機械	工業用ミシン
	産業用印刷領域		産業機器		歯車		
			工業用ミシン	工業用ミシン			
民生用領域	プリンティング領域	P&S (プリンティング&ソリューションズ)	ドミノ		ガーメントプリンター	コーディング・マーキング機器	デジタル印刷機
			ラベリング	業務用ラベリング			
		汎用ラベリング	業務用ラベルプリンター	モバイルプリンター	ラベルライター	プリンター	複合機
	通信・プリンティング						
ホーム・カルチャー領域		P&H (パーソナル&ホーム)		家庭用ミシン	カッティングマシン	通信カラオケ機器	
		N&C (ネットワーク&コンテンツ)					